

令和6年度 事業中評価対象事業一覧

No.	事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価 (案)
				採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
1	街路整備事業	しんじょうとしけいかくどうろじぎょう 新庄都市計画道路事業 3・4・4号北本町飛田線	しんじょうしあらまち 新庄市新町	H27	R9 (R6)	3年	17.3億円 (79.0%)	L=508m (L=178m)	●現道拡幅により、走行時間の短縮が期待できる。 ○緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	事業中 評価後 5年経過	・用地(交渉)	継続A
2	街路整備事業	むらやましけいかくどうろじぎょう 村山都市計画道路事業 3・4・5号村山駅東沢線	むらやましておか 村山市楯岡	R2	R10 (R8)	2年	18.0億円 (32.2%)	L=385m	●現道拡幅により、走行時間の短縮が期待できる。 ○緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	事前 評価後 5年経過	・用地(交渉)	継続A
3	街路整備事業	なんようとしけいかくどうろじぎょう 南陽都市計画道路事業 3・4・5号赤湯停車場線	なんようしみつまどおり 南陽市三間通	R2	R11 (R8)	3年	28.3億円 (20.4%)	L=393m	●現道拡幅により、走行時間の短縮が期待できる。 ○無電柱化により防災機能の強化が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	事前 評価後 5年経過	・用地(交渉)	継続A
4	街路整備事業	つるおかとしけいかくどうろじぎょう 鶴岡都市計画道路事業 3・4・3号羽黒橋加茂線	つるおかしなえづまち 鶴岡市苗津町	R2	R11 (R8)	3年	17.4億円 (28.2%)	L=213m	●現道拡幅により、走行時間の短縮が期待できる。 ○緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。 ○築40年以上経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。	事前 評価後 5年経過	・用地(交渉)	継続A
5	街路整備事業	さかたとしけいかくどうろじぎょう 酒田都市計画道路事業 3・3・4号本町東大町線	さかたしなまち 酒田市中町	R2	R11 (R8)	3年	15.0億円 (20.4%)	L=481m	●現道拡幅により、走行時間の短縮が期待できる。 ○緊急輸送道路の無電柱化により都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	事前 評価後 5年経過	・用地(交渉)	継続A
6	道路事業(改築)	しゅようちほうどう 主要地方道 やまがたやまでらせん 山形山寺線	やまがたしかざまじゅう 山形市風間～十 もんじ　たかせがわばし 文字(高瀬川橋)	H22	R7 (R5)	2年	25.3億円 (93.7%)	L=500m (L=0m)	○ 築86年を経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。 ○ 道路幅員の確保により、走行性・安全性の向上が図られる。	事業中 評価後 5年経過	・他施設管理者(河川)との協議調整	継続A
7	道路事業(改築)	一般国道 286号	やまがたしなめかわしも 山形市滑川～下 ほうざわ　ぼうばらばし 宝沢(棒原橋)	R2	R11 (R11)	—	25.0億円 (15.9%)	L=860m (L=0m)	○ 築59年を経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。 ○ 道路幅員の確保により、走行性・安全性の向上が図られる。	採択後 5年経過	—	継続A
8	道路事業(改築)	一般国道 344号	さかたしかみやすだ 酒田市上安田～ かみのそね 上野曾根	H27	R8 (R6)	2年	33.0億円 (73.7%)	L=3,080m (L=0m)	●バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。 ○物流の向上・救急医療機関へのアクセス向上が図られる。	事業中 評価後 5年経過	工事実施上の対策 (軟弱地盤)	継続A
9	道路事業(交通安全)	一般国道 287号	しらたかまちしょうぶ 白鷹町菖蒲	R2	R11 (R11)	—	12.7億円 (71.4%)	L=520m (L=0m)	○通学児童等が安全で安心して歩行できる空間が確保される。 ○円滑な通行が可能となり、交通事故発生の抑制が期待される。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全が図られる。	採択後 5年経過	—	継続A
10	道路事業(交通安全)	しゅようちほうどう 主要地方道 やまがたなんようせん 山形南陽線	なんようしいたみや 南陽市板宮	R2	R11 (R11)	—	9.5億円 (48.5%)	L=973m (L=232m)	○通学児童等が安全で安心して歩行できる空間が確保される。 ○道路幅員の確保、線形改良により、走行性・安全性の向上が図られる。 ○物流の向上・救急医療機関へのアクセス向上が図られる。	採択後 5年経過	—	継続A
11	河川改修事業	おおだんがわ 大旦川	むらやましかわしま 村山市河島 なとり ～名取	S61	R17 (R12)	5年	200.0億円 (66.3%)	9,190m (3,760m)	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の低減を図る。 ●家屋1,029戸、水田・農地497.0ha、事業所や公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害の低減を図る。	事業中 評価後 5年経過	・工事実施上の対策 (軟弱地盤)	継続A
12	海岸侵食対策事業	ひこちくかいがん 比子地区海岸	ゆざまちひこ 遊佐町比子	H7	R13 (R10)	3年	45億円 (66.0%)	突堤6基(堤頭4基) (突堤6基(堤頭1基))	●家屋3戸や公共土木施設の施設消失被害と107haの土地消失被害の軽減が期待できる。 ●防砂林(クロマツ)を保全することで飛砂被害の軽減が期待できる。 ○クロマツ林の景観やその歴史的価値を保全することができる。	事業中 評価後 5年経過	・工事実施上の対策	継続A
13	土砂災害対策事業 (砂防)	あしきかわ 芦沢川	やまがたしやまでら 山形市山寺	R2	R10 (R6)	4年	6.0億円 (51.8%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●山寺小中学校、山寺地区の人家34戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道350m及び林道800mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・用地(白地)	継続A

No.	事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価 (案)
				採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
14	土砂災害対策事業 (砂防)	ひらいしみずさわ 平石水沢	やまがたしかみひがしやま 山形市上東山	H12	R10 (R6)	4年	14.0億円 (64.7%)	砂防えん堤4基 (砂防えん堤2基)	●平石水地区の人家41戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道1,260m、橋梁、公民館等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中 評価後 5年経過	・用地(共有地)	継続A
15	土砂災害対策事業 (砂防)	こんびらさわ 金毘羅沢	てんどうしぬくつ 天童市貫津	R2	R10 (R6)	4年	2.8億円 (38.9%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●貫津、山元地区の人家27戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道450mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・地元調整(工事用 道路)	継続A
16	土砂災害対策事業 (砂防)	ぬくつがわ 貫津川	てんどうしぬくつ 天童市貫津	H27	R10 (R6)	4年	2.2億円 (30.4%)	流木捕捉工1基 (流木捕捉工－基) 溪流保全工 L=397m	●上貫津地区の人家100戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道3,600m、橋梁、公民館等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中 評価後 5年経過	・用地(共有地)	継続A
17	土砂災害対策事業 (砂防)	すわさわ 諏訪沢	なかやまちつはし 中山町土橋	R2	R8 (R6)	2年	2.8億円 (73.9%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●柳沢、土橋地区の人家33戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●町道等の道路設備における施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・用地(残地)	継続A
18	土砂災害対策事業 (砂防)	しばやさわかわ 柴屋沢川	きがえしきちう 寒河江市幸生	R2	R7 (R6)	1年	2.8億円 (56.3%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●幸生地区の人家2戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●国道、町道等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感を向上することができる。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・工法検討	継続A
19	土砂災害対策事業 (砂防)	しおみずさわ 塩水沢	あさひまちかみごう 朝日町上郷	R2	R8 (R8)	なし	2.8億円 (78.8%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●上郷地区の人家20戸、人的被害及び国道、町道等の施設被害の軽減が期待できる。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感の向上が図られる。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・特になし	継続A
20	土砂災害対策事業 (砂防)	たてあと沢 さわ	さげがわむらきようづか 鮭川村京塚	R2	R8 (R6)	2年	2.7億円 (69.0%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●京塚地区の人家28戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●県道100m、市道650mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・地元調整(工事用 道路)	継続A
21	土砂災害対策事業 (砂防)	たきさわ 滝沢	よねざわしすもやま 米沢市李山	R2	R10 (R6)	4年	2.2億円 (34.0%)	溪流保全工L=795m (溪流保全工L=－m)	●李山地区の人家33戸の家屋、介護老人保護施設1施設の人的被害を軽減する。 ●県道、町道等の道路施設被害及び農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・用地(交渉) ・関係機関(改良区) との協議	継続A
22	土砂災害対策事業 (砂防)	おりはたがわ 織機川	なんようしうるしやま 南陽市漆山	H27	R10 (R10)	なし	15.0億円 (54.4%)	砂防えん堤2基 (砂防えん堤1基) 床固工10基 (床固工－基)	●漆山地区の人家179戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●フラー長井線74m、県道659m等の施設被害及び農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中 評価後 5年経過	・特になし	継続A
23	土砂災害対策事業 (砂防)	おおさわ 大沢	なんようししんでん 南陽市新田	R2	R7 (R6)	1年	3.9億円 (51.4%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●新田地区の人家47戸の家屋、要配慮者利用施設1戸の人的被害を軽減する。 ●国道13号600m、市道600m等の道路被害及び農産物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・地元調整(工事用 道路)	継続A
24	土砂災害対策事業 (砂防)	ばばさわ 馬場沢	かわにしまたまにわ 川西町玉庭	R2	R7 (R6)	1年	3.0億円 (77.3%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●玉庭地区の人家31戸の家屋、玉庭小学校1施設の人的被害を軽減する。 ●県道700m、町道600m等の道路施設被害及び農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・地元調整(工事用 道路)	継続A
25	土砂災害対策事業 (砂防)	うちくら 内倉	しらたかまちしもやま 白鷹町下山	R2	R8 (R6)	2年	3.0億円 (28.4%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●下山地区の人家2戸及び宿泊施設1施設の建物及び人的被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。 ○土砂災害発生時に宿泊施設の孤立を回避する。	事業中 評価後 5年経過	・工法検討	継続A
26	土砂災害対策事業 (砂防)	ゆあつみ 湯温海3	つるおかしゆあつみ 鶴岡市湯温海	R2	R8 (R6)	2年	2.0億円 (69.0%)	砂防えん堤1基 (砂防えん堤－基)	●土砂氾濫区域内の人家65戸、県道139m、市道817mの土砂災害が未然に防止される。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択 後5年経過 時点で継 続中	・地元調整(工事用 道路)	継続A
27	土砂災害対策事業 (砂防)	にっこうがわ 日向川	さかたしますだ 酒田市升田	H12	R7 (R4)	3年	13.4億円 (99.0%)	床固工3基 (床固工3基)	●人家9459戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●主要地方道1,400m・市道3100m・橋梁5橋、保育園等の施設被害を軽減する。 ●農地800aの農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、住民に安心感を与える。	事業中 評価後 5年経過	・関係機関(環境)と の協議	継続C

No.	事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価 (案)
				採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
28	土砂災害対策事業 (地すべり)	まきのだい 槇の代	つるおかしまきだい 鶴岡市槇代	R2	R11 (R6)	5年	8.0億円 (66.0%)	頭部排水工1式 地下水排除工1式 法面保護工1式 (一式)	●河道埋塞200m、県道1.0km、浸水家屋38戸、農地10haの施設被害を軽減する。 ○地すべり災害に対する不安感を解消し、住民に安心感を与える。	事業採択後5年経過時点で継続中	・工法検討	継続A
29	土砂災害対策事業 (急傾斜)	わかき 若木	やまがたしわかき 山形市若木	R2	R10 (R6)	4年	4.3億円 (25.2%)	植生基材吹付工 A=4,000m2 (A=-m2)	●若木地区の人家8戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道104m等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択後5年経過時点で継続中	・埋蔵文化財発掘調査	継続A
30	土砂災害対策事業 (急傾斜)	しろやま 城山2-1	てんどうしきため 天童市北目	R2	R10 (R7)	3年	5.0億円 (16.2%)	崩壊土砂防護柵工 L=290.7m (L=-m)	●北目地区の人家30戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道等486mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過	・用地(相続)	継続A
31	土砂災害対策事業 (急傾斜)	ちょうぜんじ 長善寺	むらやましちょうぜんじ 村山市長善寺	R2	R8 (R8)	なし	2.3億円 (53.4%)	コンクリート擁壁 L=27.2m(L=-m) 崩壊土砂防護柵 L=73.5m(L=-m)	●長善寺地区人家6戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する ●県道30m及びその他道路50mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感を向上することが出来る。	事業採択後5年経過時点で継続中	・特になし	継続A
32	土砂災害対策事業 (急傾斜)	じんでん 神田(2)	とぎわむらじんでん 戸沢村神田	R2	R8 (R5)	3年	1.7億円 (58.1%)	法枠工 (L=175m) L=38m	●神田地区の人家5戸について、人的被害を防ぎ、家屋や家庭用品並びに公共施設の被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択後5年経過時点で継続中	・工法検討 ・用地(相続)	継続A
33	土砂災害対策事業 (急傾斜)	いけぐろ 池黒(1)	なんようしいけぐろ 南陽市池黒	H27	R10 (R5)	5年	2.3億円 (59.4%)	崩壊土砂防護柵 L=107.5m (L=20.0m)	●池黒地区の人家6戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過	・工法検討	継続A
34	土砂災害対策事業 (急傾斜)	あしざわ 芦沢	ながいしあしざわ 長井市芦沢	R2	R11 (R6)	5年	2.0億円 (50.8%)	補強土壁工・法枠工 L=216m (L=22m)	●芦沢地区の人家5戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ○住民の不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過等	・工法検討 ・埋蔵文化財発掘調査	継続A
35	土砂災害対策事業 (急傾斜)	だいらんじ 大林寺(6)	しらたかまちあゆかい 白鷹町鮎貝	H27	R7 (R5)	2年	1.8億円 (74.3%)	法枠工 L=110m (L=44m)	●大林寺地区の人家5戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ○住民の不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過等	・用地(財産放棄地) ・工法検討	継続A
36	土砂災害対策事業 (急傾斜)	あらと 荒砥	しらたかまちあらとこう 白鷹町荒砥甲	R2	R8 (R6)	2年	2.1億円 (13.0%)	法枠工 L=130m (L=0m)	●荒砥甲地区の人家5戸の建物及び人的被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択後5年経過時点で継続中	・工法検討	継続A
37	土砂災害対策事業 (急傾斜)	ゆら 由良(3)	つるおかしゆら 鶴岡市由良	R2	R10 (R7)	3年	4.2億円 (20.4%)	吹付法枠工 1,000m2(-m2) 重力式擁壁工 200m(-m)	●由良地区の人家30戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道225m、その他道路79mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感を向上することができる。	事業採択後5年経過時点で継続中	・関係機関との調整	継続A
38	水産基盤整備事業	山形県2地区 (由良漁港)	つるおかしゆら 鶴岡市由良	H26	R8 (R5)	3年	13.6億円 (66.6%)	東防波堤(D) L=106.7m (L=76.7m) 西防波堤(B) L=170.6m (L=150.6m) -4.5m岸壁(B) L=150.0m (L=33.8m)	●防波堤の整備により港内の静穏性が増し漁船の耐用年数が延長される。 ●防波堤の整備により港内の静穏性が増し荒天時の漁船の見回り回数が削減される。 ●岸壁の整備によりエプロン幅が拡張し荷捌き作業時間が短縮される。 ○改良工事が行われることで漁業継続意欲の向上が図られる。	事業採択後10年経過	岸壁工事に係る利用者との調整及び防波堤工事の工程調整により工事が長期化したため。	継続A
39	農地整備事業	きもいり 肝煎地区	しょうないまちきもいり 庄内町肝煎	H27	R7 (R6)	1年	10.9億円 (84.5%)	区画整理工 11.4ha (11.4ha) 用排水施設工 9.4km (3.5km)	●ほ場区画の拡大により作業効率が向上し、営農経費が軽減される。 ●農地の排水対策などの条件整備を行うことで、作物の単収増や品質向上が図られ生産額が増加する。	事業採択後10年経過	技術者不足による入札不調により、工事開始時期が遅延したため。	継続A

No.	事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価 (案)
				採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
40	(県施行) 林道事業	最上奥の細道線 もがみおく ほそみちせん	最上町大字富沢 もがみまち とみざわ	H22	R11 (R6)	5年	13.1億円 (61.3%)	9,673m (6,599m)	●路網の整備により、木材の搬出経費や輸送トラックの大型化による輸送経費の縮減が図られる。 ○林道整備に伴うコスト縮減により間伐が促進される。	事業中 評価後 5年経過	終点側共有林の地権者の同意取得に年数を要したため。	継続A
41	(県施行) 林道事業	沼沢線 ぬまざわせん	小国町大字沼沢 おぐにまち ぬまざわ	H27	R11 (R6)	5年	7.0億円 (51.8%)	9,200m (3,693m)	●路網の整備により、木材の搬出経費や輸送トラックの大型化による輸送経費の縮減が図られる。 ○林道整備に伴うコスト縮減により間伐が促進される。	事業採 択後 10年経過	起点側で発生した地すべり性崩壊及び終点側の埋設ケーブル移設の対応に期間を要したため。	継続A
	(天童市案件)											
42	道路事業(改築)	市道 (仮称)スマートインター1号線 ごうせん	天童市大字高掬 てんどうし たかだま	R3	R8	0年	5.3億円 (36.6%)	L=540m (L=0m)	●道路整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○最上川河川氾濫時の周辺インターの代替インターとしての機能が確保できる。	市町村長からの審査 依頼事業	遅れなし	継続A